



清水ヒデキ

豪援隊長・

弁護士・移民コンサルタント
(MARN: 9900985)

「オーストラリアから日本を援けよう」と豪援隊発足。16歳に単身オーストラリアに留学。その後ボンド大学卒業後、QLD州弁護士資格取得。長年に渡り、日本人ならびに日系企業、世界各国のクライアントのコンサルタント業務に従事。

豪援隊かわら版

<今月のジョーク その1> 会計士って素晴らしい

日本人のスズキはニューヨークでも有数のやり手の税理士だったが、顧客の中にマフィアのボスがいた。ある時、ボスが彼にこんな依頼をしてきた。「日本のヤクザの男が50万ドルを持ち逃げした。なんとかこのヤクザを捕らえたのだが、金の隠し場所が分からず言葉も通じない。通訳として来てくれないか」税理士のスズキは了承し、マフィアのジトまで赴いた。そこではヤクザの男が椅子に縛られていた。マフィアのボスがヤクザに怒鳴った。「金はどこだ！ 早く言わないか！」スズキはすぐに通訳した。「そんなこと、言うわけないだろう」ヤクザが日本語で言った。スズキはそれを英語に訳してボスに伝えた。それを聞いたボスは拳銃を手にしてヤクザの右足を撃った。「もう一度聞か！ 金はどこだ！」「絶対に教えないぜ」スズキは言葉のまま通訳した。ボスは、今度はヤクザの左足を撃ってから言った。「これが最後のチャンスだ。これで言わないと次はお前の頭に打ち込むからな！」スズキの通訳を聞くと、さすがのヤクザも顔を歪めてこう叫んだ。「わかった。すべて話すから助けてくれ。いいか、オレの家のガレージに停めてあるクルマの中だ。助手席の下に隠してある」それを聞いたスズキはこう通訳した。「ボス、彼は今こう言いました。『死ぬのはまったく恐くない。お前など地獄に堕ちろ、さあ殺しやがれ』と」
(ジョーク集より)

<今月の視点>

オーストラリアで4月といえば、イースターとアンザックデイの祝日が続く月です。2週間続けてのロングウィークエンドがありましたので、家族サービスをさせられた週末が続きましたが、皆さんはいかがでしたでしょうか？

そんなこんなで今月の視点です。

1. 日豪自由貿易協定

こちらのメディアでもアボット首相が訪日して決めてきた、Free Trade Agreement(FTA)(自由貿易協定)が話題になりました。あまりここ最近目立った活躍が見せられていなかったアボット首相にとっては、ここぞとばかりに外交で立て続けに日本と韓国とのFTA締結を決めたことで政治的アピールも狙っていたようです。逆に言いますと、こうしたことがすでに進められていたことにより、相次ぐ自動車会社の撤退も無理に止めが入らなかったと言えます。

この自由貿易協定により決められた内容に関しては、オーストラリア外務省のサイトに載っています。

(<http://www.dfat.gov.au/fta/jaepa/downloads/jaepa-key-outcomes.pdf>) やはり、農作物に対する関税の廃止や税率の減少が主になっていますが、そこはこのかわら版読者の方だけに、筆者の独断と偏見によるFTAの裏の影響をお伝えします。

・オーストラリアで牛タンの値段が上がってしまう。
牛タン好きの方には困った話です。現在オーストラリアのスーパーやお肉屋さんでは、犬の餌扱い。それをペットの犬に食わせるんだという振りをしながら購入するわけですが、そんな牛タンが現在オーストラリアでは丸々の状態で3ドルから4ドルくらいで手に入ります。それを皮をうまくそぎはがして薄切りにして焼肉、または丸ごと煮込んで牛タンシチューとなるわけですが、今回FTAにて、そうした牛の部位等に関しても関税の値下げをすること。そうなりますと、もっと高く売れる日本のほうに牛タンが流れ、オーストラリアでは犬の餌の振りをして買うことができなくなるかも。。

・オーストラリアチーズとワインのブームが日本で起こる。
コストパフォーマンスのいいオーストラリアワインに関しては、すでに日本でも注目されています。日本のワインブームに便乗して、いくつかのオーストラリアワインも日本の市場にすでに出荷しています。しかし、オーストラリアってあまり世界的な評価がまだないかもしれませんが、おいしいチーズも作っています。特にタスマニアで作られるチーズは有名です。乳製品の関税率引き下げに伴い、オーストラリアのチーズも日本の食卓を賑わせることになるのではないのでしょうか(?)。ワインとチーズは良く合いますものね。

(右上に続く→)

・オーストラリア Cadbury チョコレートブーム
単なるマイブームとして終わる可能性大ですが、オーストラリアのチョコレート Cadbury がチョコレートの関税の引き下げで日本で起こるかも。いろいろなチョコレートがありますが、結構 Cadbury のチョコレートはおいしいですね。日本でもいろいろなデザートがブームとなり、消えていきますが Cadbury の昔から変わらない味は日本でも意外に受けるかもしれないと、勝手に思っております。

2. 国家予算

5月に発表される予算案を前に、ホッキー財務大臣がしきりと「厳しい予算」を言い触れています。赤字の財政を黒字に戻すための腕の見せ所とばかりに、皆で痛みを伴おうというメッセージを事あるたびに発しています。確かに、労働党がしっかり使い込んだ後の国の財政は厳しいものがありますが、日本と違い数年の努力で黒字にできるというのはこのオーストラリアの強みでしょう。おそらく、「厳しい予算」とはいいつつ、そこそこの予算となるのでしょうが、どのようなオーストラリア経済の舵取りをしていくか、今から目が離せません。

3. 定年高齢化

ホッキー財務大臣が最近発言していることの一つに年金をもらえる年齢の引き上げがあります。現在65歳ですが、それを70歳にしなければいけないという発言を度々しています。オーストラリアも高齢化社会が進む中で、やはりもう少し長く国民を働かせなければならなくなってきていると考えているようです。定年自体が高齢化しているようです。そのためには、歳をとっても健康でいることが必要となりますが、その点に関してもかなり力を入れてきているようです。ああ、やっぱりチョコレート食べるのは控えないと。。

<今月の子供ってすばらしい >

先日、6歳の日本語が得意ではない娘が本を読んでいる最中に、本にできてきたある単語について質問してきました。

娘「お父さん、ダイファックって何？」

私「ブホーッウ！」(飲みかけていたお茶を噴出す私)「えっ、今何て言ったの？」娘「ダイファック」

私「その言葉、なんだか知らないけど、ママや他の人の前では言わないようにね。」

娘「ジャパニーズフードらしいけど、この本に出てくるの。」

私「どれどれ、(本を見る私)」「ああ大福(Daifuku)ね。日本のデザートだね。」(そっと胸をなでおろした私)

こうしてまた平凡な一日が過ぎ去った我が家であった。めでたし、めでたし。

<今月のおまけの視点>

2月号ではIELTSのスコアをアップさせるための、特別コースを運営している会社を紹介しました。当方、自慢ではないですが、電話で話しをする際、当方の姿が見えないオーストラリア人には当方が日本人だということが分からないとよく言われます。完全にオーソ一英語マスターです。(あまり自慢になりませんが。。)そのため、よくいろいろな方から、どのように英語を勉強したかについて質問を受けます。そこで、今回は拙著をいつも読んでくださる皆様だけに、英語がうまくなるコツを特別にお教えします。これを修得すれば、あなたも英語がうまくなるかもよ!!(宮尾すすむ風)

清水式(とにかく地道な)英会話修得術

その1: 英語を聞く耳を鍛える

とにかく、英語をうまくなるためには英語を聞くことからはじめなければなりません。当方、オーストラリアに来た当初は英語しか使わない環境に身をおき、寝ている時以外は英語が耳から入るようにテレビ、ラジオ、人と話をしたりを徹底的に行いました。すると、人それぞれですが、英語の耳ができてくるはずですよ。今まで、数珠繋ぎであった言葉が、少しずつ聞き取れるようになってきます。そして、そこから徐々に知っている単語が拾えるようになってきます。

その2: 単語を覚える

とにかく、分からない単語は辞書で調べる。ひたすら、この地道な作業で単語を覚えていきます。文章が分からなくても、英語の耳ができて、単語が拾えると、文章中の単語から意味を推察することができるようになります。

その3: 文法を気にしない

ネイティブでも文法は無茶苦茶です。逆に日本人の方が、正しい文法で話していたりします。映画ベストキッドのミスターミヤギを引き合いに出します。映画の中で、とにかく空手の技を覚えて強くなりたいと願うダニエルさんに対して、ミスターミヤギはこう言います。「Daniel san, (手で頭と胸を指して) Karate here. (それから腕を指して) Karate not here.」ミスターミヤギ、何と三語だけで、こうダニエルさんに伝えました。「ダニエルさん、空手は腕っ節の強さを見せるものではないんだ。頭と心で学ぶものなんだ。」コミュニケーションは文法ではなく、単語を使ってどのように表現するかになります。

その4: 笑う

相手が何を言っているか分からない場合には、とにかく笑っちゃいましょう。笑ってしまえば、相手も嫌な気はしないので、また懲りずに話しかけてくれます。

その5: 間違えるのは当たり前

間違えるのは当たり前です。間違ったら、相手が直してくれますから、どんどん間違えましょう。そして、まちがった言い方や単語はメモ帳に書き込んでおきます。それを毎日寝る前に復習するわけです。そうすると、自然に覚えていくようになります。

その6: 英会話に近道はなし

これをすれば、すぐに話せるようになるというものはありません。こればかりは毎日の積み重ねですから、少しずつあきらめずに頑張るしかないですね。

< 今月の一言 >

「元気ですか——！元気があれば何でもできる。元気がないなら議員辞めろ。」

(アントニオ猪木氏が議会内で元気ですかと大声で挨拶したことに対して、委員長から心臓も悪い議員もいるので、そういう言動は控えるようにと注意されたことに対する、とあるラジオ視聴者からの投稿)

なるほど。確かに日本の議員さんは行動力がある人たちというより、年配者のほうが多い気がします。。

< 今月のジョーク その2 > 長距離夜行列車にて。

高校卒業記念に旅に出た3人の若者は、4人がけの席に座った。男ばかりの気安さで盛り上がっていると、

「あのう。ここ、あいてますか」

見上げれば、かわいい女の子が一人で立っている。喜んで座ってもらったのは言うまでもない。今度は4人で楽しく盛り上がった。若さをもてあましている男と女。夜がふけ、周りの席が静かになると、話は少しずつエッチな方へと移っていった。

「ねえ。一人100円ずつくれたら、ふとももの蚊に刺された所、見せてあげる」女の子が笑いながらこんなことを言うと、3人は即座に100円を取り出した。女の子はスカートをめくり、ふとももをあらわに。

「うおー、すげえ」と、うれしげな男3人。

「ねえ。一人1000円ずつくれたら、胸の谷間のほくろ、見せてあげる」

今度も3人はすぐに1000円を払った。女の子はシャツの胸元を大胆に開けてみせた。

「うおー、すげえ」

「ねえ。一人10000円ずつくれたら、盲腸の手術した所、見せてあげる」

3人は、待ちきれないように10000円を払った。30000円を手にすると女の子は立ち上がり、窓の外を指差した。

「ほら見て、あの病院よ」

(ジョーク集より)



Go Australia Visa Consultant

Go オーストラリアビザコンサルタント ブリスベン事務所を新規開設いたしました。(ご面会のご予約制となります。)

このかわら版、またはビザに関する質問、お問い合わせは、こちらまでお気軽に！

ゴールドコースト事務所 住所: Suite no.222 Level 2 Watermark Hotel

3032 Surfers Paradise Boulevard Surfers Paradise QLD 4217

郵送先住所 PO Box 481 Isle of Capri QLD 4217

電話: +61-7-5570-4542, Fax: +61-7-3319-6131 (担当: 関)

ブリスベン事務所 住所: Level 4, 99 Creek Street, Brisbane QLD 4000

郵送先住所 P.O. Box 12257, George St, Brisbane QLD 4003

電話: +61-7-3040-2116, Fax: +61-7-3319-6131

E mail : info@goaustralia-visa.com

Website : www.goaustralia-visa.com

< 当社お問い合わせ電話番号 >

日本から 03-4283-8484

日本時間 8:00~16:00 月~金(オーストラリアの祝日を除く)

オーストラリアから 07-5570-4542

オーストラリア時間 9:00~17:00 月~金(オーストラリアの祝日を除く)